

岡崎市長選挙(岡崎東高校版)

2年生の必修科目である公共の授業において、模擬選挙を実施しました。
夏休み課題でマニフェストを作成。そのマニフェストをもとに立会演説を行ったのち、選挙を実施。選挙を行うにあたって、岡崎市選挙管理委員会から記載台や投票箱をお借りし、本番さながらの模擬選挙を行いました。

候補者による立会演説会の様子
生徒は、内容で1票を投じる候補者を選ぶ。



投票の様子

実際の選挙と同様に、選挙管理委員に名前を申し出て投票用紙を受け取り、記載台で記入する。記入した投票用紙を投票箱に入れる。



選挙管理委員による開票作業の様子



授業担当者からは、来年度有権者となる高校2年生に、選挙を体験してもらうことで、選挙に行くハードルを下げることを目的としました。有権者としてどのような資質を身に付けるべきか、今後も考え続けてほしい。
とのことでした。

